

2009年3月期 通期
(2008年4月～2009年3月)

決算説明資料

株式会社 アドテック



1:事業概要

目次

1:事業概要

2:2009年3月期決算概要

3:2010年3月期予想

—ADTEC, Memory & Technology—

アドテックは、「顧客第一主義」をモットーに、ハイエンドからローエンドまでお客様のニーズにマッチしたメモリモジュール製品・フラッシュメモリ製品・その他関連製品を開発し、スピードをもって市場に展開してまいります。

会社名 : 株式会社アドテック
代表者名 : 代表取締役社長 林 芳弘
創立年月日 : 昭和58年2月17日
資本金 : 14億6,921万円
従業員数 : 44名(平成21年3月31日現在)
本店所在地 : 東京都中央区湊一丁目1番12号
事業内容 : 電子部品及びコンピューター関連製品の開発・製造・販売
監査法人 : 東陽監査法人



2: 2009年3月期決算概要－損益計算書－

目次

1: 事業概要

2: 2009年3月期決算概要

3: 2010年3月期予想

**半導体不況の通期継続
下期景気の急激な悪化**

収益悪化

(単位: 百万円)

	2008年3月期	2009年3月期	増減	主要因
売上高	5,080	3,257	△1,823	<ul style="list-style-type: none"> ● メモリ: OEM顧客生産調整による出荷数減及び販売単価下落 ● フラッシュ: 携帯電話出荷数減少による出荷数減及び販売単価下落 ● 在庫処分、評価損の増加 ● 新規製品の投入
売上総利益 売上総利益率	585 11.5%	405 12.5%	△179	
販管費	526	524	△2	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規製品の販売促進 人員シフト、販売促進関連費の増加 ● 内部統制関連費用の増加 ● 基幹SYS減価償却費減少 ● その他経費削減
営業利益 営業利益率	59 1.2%	△118 —	△177	
営業外損益	19	2	△16	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期: 為替差益
経常利益 経常利益率	78 1.6%	△115 —	△194	
特別損益	13	△2	△16	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期: 投資有価証券売却益他
当期純利益 当期純利益率	90 1.8%	△121 —	△211	

2: 2009年3月期決算概要－製品別販売状況－

目次

1: 事業概要

2: 2009年3月期決算概要

3: 2010年3月期予想

メモリ需要急減による売上高縮小

メモリ依存からの脱却を図るため新規製品に重点移行中

(単位:百万円)

		2008年3月期	2009年3月期	前年比	主要因
メモリモジュール		3,327	1,397	42%	<ul style="list-style-type: none"> ・OEM需要急減による数量減少(前期比54%減少) ・市況下落による販売単価の低下(前期比7%減少)
フラッシュメモリ		1,333	729	55%	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話出荷数減少による数量減少(前期比16%減少) ・市況下落による販売単価の低下(前期比33%減少)
その他	車載関連	107	132	123%	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブレコーダーに加えセーフティカメラ(車載用防犯カメラ)を新規投入
	新規製品他				
	PC	53	310	585%	<ul style="list-style-type: none"> ・超小型PC販売増大
	PC・携帯周辺機器	13	73	562%	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロプロジェクターが好評
その他		246	616	250%	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品・製品のTrading-Bizの増大
売上高合計		5,080	3,257	64%	

2: 2009年3月期決算概要－貸借対照表－

現預金増加、当期純損失による純資産減少

(単位：百万円)

項目	2008年3月期	2009年3月期	増減	主要因
流動資産	2,173	1,929	△244	
現金及び預金	390	677	286	前期期末在庫売却回収
受取手形・売掛金	678	673	△5	
棚卸資産	983	402	△581	前期期末在庫売却
その他流動資産	120	176	55	
有形・無形固定資産	37	48	11	
投資等その他の資産	104	101	△2	
資産計	2,314	2,079	△235	
流動負債	606	497	△109	
買掛金	143	113	△29	
短期借入金	350	280	△70	借入返済
その他流動負債	113	103	△10	
固定負債	53	51	△2	
株主資本	1,648	1,526	△121	
資本金	1,469	1,469	0	
資本剰余金	281	281	0	
利益剰余金	28	△93	△121	当期純損失
自己株式	△130	△130	△0	
評価・換算差額等	1	△6	△7	投資有価証券評価減
新株予約権	4	10	5	ストックオプション
純資産合計	1,654	1,530	△123	
負債及び純資産計	2,314	2,079	△235	

目次

1: 事業概要

2: 2009年3月期決算概要

3: 2010年3月期予想

2: 2009年3月期決算概要—キャッシュ・フロー—

目次

1: 事業概要

2: 2009年3月期決算概要

3: 2010年3月期予想

営業キャッシュ・フロー増加、現預金残高増加

(単位:百万円)

項 目	2008年3月期	2009年3月期	当期増減の主要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55	386	税引前当期純損失(117百万) 棚卸資産の減少(581百万)
投資活動によるキャッシュ・フロー	43	△33	無形固定資産の取得(18百万) 有形固定資産の取得(9百万) 投資有価証券の取得(5百万)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△70	短期借入金の返済(70百万)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	3	
現金及び現金同等物の増減額	△23	286	
現金及び現金同等物の期首残高	413	390	
現金及び現金同等物の期末残高	390	677	

3: 2010年3月期予想(1)

目次

1: 事業概要

2: 2009年3月期決算概要

3: 2010年3月期予想

不安定な事業環境継続予想の下 メモリ依存からの脱却・利益回復を目指す

(単位:百万円)

	2009年3月期 実績	2010年3月期 計画	前年比	主要施策
売上高	3,257	3,400	104%	<ul style="list-style-type: none"> ●メモリ・フラッシュ製品 OEM新規案件の獲得 ●PC・携帯電話関連周辺機器を“選択と集中”により新規開発投入 ●新分野開拓(LED照明、プリント基板検査装置)と外部販路の活用
売上総利益 売上総利益率	405 12.5%	573 16.9%	141%	
販管費	524	514	98%	<ul style="list-style-type: none"> ●内部統制報告制度の運用による効率化 ●組織の見直し ●人員及び総経費の適正化
営業利益 営業利益率	△118 —	59 1.7%	—	
経常利益 経常利益率	△115 —	54 1.6%	—	
当期純利益 当期純利益率	△121 —	50 1.5%	—	



3: 2010年3月期予想(2)

目次

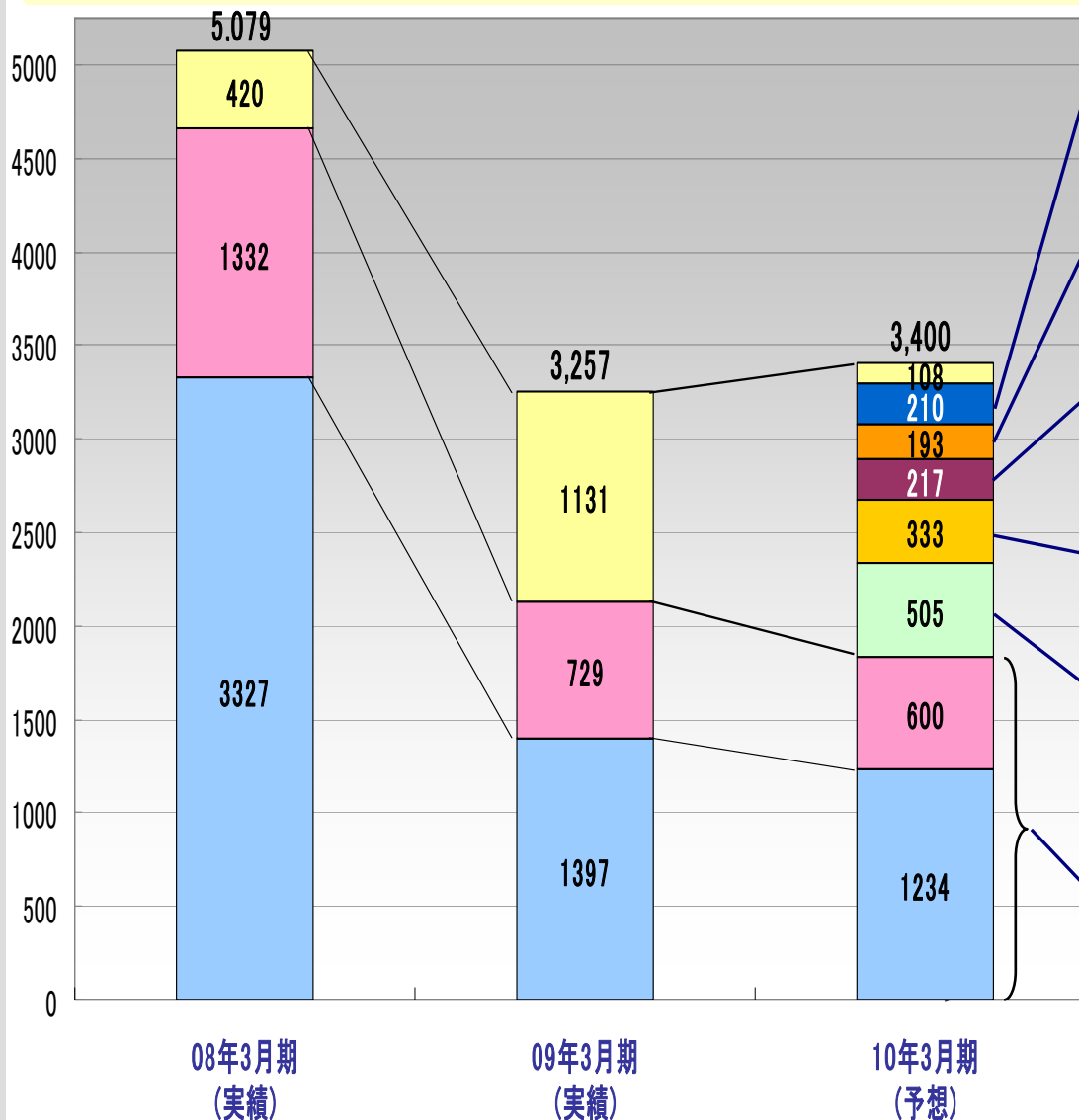
1: 事業概要

2: 2009年3月期決算概要

3: 2010年3月期予想

製品別売上予想 —メモリ・フラッシュ及び新規製品重点施策—

(単位: 百万円)



プリント基板検査装置(新規)

- ・TRI社(台湾)との協業
- ・外部販路の活用

LED照明(新規)

- ・ECO製品としてニッチ市場に参入
- ・外部開発・製造会社との協業

車載関連(継続 安定成長)

- ・ドライブレコーダー、防犯カメラの継続販売促進
- ・関連製品の販売促進

超小型PC及びPC(継続 安定成長)

- ・(株)MCJグループ各社との協業

PC携帯関連機器(継続 安定成長)

- ・”選択と集中“で新規製品を投入販売 (マイクロプロジェクター、デジタルフォトフレーム、Bluetooth関連製品等)

メモリ・フラッシュ製品(継続)

- ・新規製品開発力の維持向上を通じてOEM需要回復期を的確に捉える (DDR3、コンパクトフラッシュ、SSD)

* 2009年3月期実績のモニターTRADING-BIZは不安定市場のため計画外

■メモリ ■フラッシュ ■PC・携帯周辺機器 ■PC ■車載関連 ■LED照明 ■PCB TESTER ■その他

本資料の閲覧誠にありがとうございました。

本資料の取扱上のご注意

本資料に記載された意見や予測などは資料策定時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、予告なしに変更される可能性もございます。

